

6 日本史B

指導と評価の年間計画例 その1 第2学年用2単位 (3年継続4単位 計6単位)

目標	我が国の歴史の展開を、世界的視野に立って総合的に考察させ、我が国の文化と伝統の特色について認識を深めさせることによって、 歴史的思考力を培い、国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。
【学習指導要領】	我が国の歴史と文化の展開を、各時代の国際環境や地理的な条件と関連付けて、世界の中の日本という視点から、多面的に・多角的に考察し、理解させる。
到達目標に向けての具体的な取組	学習内容と現代の諸事件や課題等との関連性を常に意識させ、我が国の歴史の基本的な内容を理解した上で、現代の課題を多面的・多角的に考察し、将来にわたって自ら課題を見つけ、自ら考え解決していく力を養う。
【評価規準を念頭に置いた指導上の留意点】	<ul style="list-style-type: none"> 毎日の授業において、生徒に思考を促すような「課題」を設定する授業展開に努め、思考力・表現力を高め、他の場面やより高次のレベルでの転移を可能とする学習を実現する。 関心や意欲を高めることができるよう、視聴覚教材・インターネット・現物教材などを幅広く活用するとともに、地域に密着した素材、時事的な素材、日常生活など生徒にとって身近な素材を多く取り上げた授業構成とする。 歴史学習における資料の重要性を理解させるため、資料を主題とした学習を設定する。 「日本人の生活と信仰」、「日本列島の地域的な差違」、「現代日本の課題」に関して課題追究学習を行う。

<第2学年>2単位

月	単元名	使用教科書項目(社日本史B)	時	主な学習活動(指導内容)と評価のポイント	評価方法
4月	資料をよむ	日本史Bの授業について 日本史常識度チェックの実施	1	・日本史B学習の意味とガイダンス(年間計画・評価等説明) ・生徒の基礎的な知識や興味・関心を確認する調査を実施	アンケート実施
5月	第1章 日本文化の あけぼの	1. 文化のはじまり	2	・「紀伊国阿テ川荘民の訴状」資料の意義を理解する。	プリント確認
		2. 農耕社会の確立	3	・旧石器文化、縄文時代の理解を通して、日本人や日本の文化の原点について考察する。	プリント確認 行動観察
		3. 古墳とヤマト政権	3	・縄文時代と弥生時代の差違に注目し、農耕の開始によって社会に大きな変化が生じたことを理解する。	質問紙
6月	第2章 律令国家の 形成	1. 飛鳥の朝廷	3	・古墳文化の特色や、ヤマト政権の誕生から統一国家形成の過程を、東アジア諸国との関係も含めて理解する。	小テスト
		2. 律令国家	3	・6世紀のヤマト政権における豪族間の対立、聖徳太子の政治を、当時の国際関係を踏まえて理解する。	プリント確認 行動観察
		前期中間考査 テスト返却 自己評価・授業評価	1	・大化改新を東アジア情勢の中で理解し、日本における「外圧」による政治改革について考察する。	質問紙
7月	第3章 貴族政治と 国風文化 成と発展	3. 平城京の時代	3	・律令国家の形成と民衆の状況について理解する。	小テスト
		4. 天平文化	1	・旧国名理解する。(旧国名小テストを実施)	自己評価 授業評価
		5. 平安朝廷の形成	2	・2か月の間の学習の状況について自己評価する。	
9月	第4章 中世社会の 成立	前期中間考査 テスト返却 自己評価・授業評価	1	・授業評価を実施する。	
		1. 摂関政治	2	・奈良時代の政治とその特色について理解する。	小テスト
		2. 国風文化	1	・律令国家の土地政策の変化と土地制度史学習の意味を理解し、平安時代以後の変化を考察する。	プリント確認 質問紙
10月	第5章 武士社会の 成長	課題追究学習発表	1	・天平文化について、その国際性に注目して理解する。	行動観察
		前期期末考査 テスト返却 自己評価・授業評価	1	・古代仏教文化の特色を理解し、現代仏教の状況を考察する。	小テスト レポート
		3. 荘園と武士	3	・平安遷都の理由を理解し、古代における遷都の意味を考察。密教を中心に平安初期の文化を理解する。	自己評価 授業評価
11月	第6章 幕藩体制の 確立	1. 院政と平氏の台頭	3	・日本の東西文化の相違について各自がテーマを設定し、相違の事象・理由等について課題追究学習を行う。	小テスト
		2. 鎌倉幕府の成立	3	・摂関政治成立過程とその特色について理解する。	プリント確認 質問紙
		3. 武士の社会	3	・政治史における婚姻の持つ意味について考察する。	行動観察
12月	第7章 戦国大名の 登場	4. 元寇と幕府の衰退	3	・文化の国風化の我が国の歴史全体における意義を理解する。	小テスト
		5. 鎌倉文化	2	・課題追究学習の発表(グループ別 全体)	レポート プリント確認 質問紙 行動観察 小テスト
		後期中間考査 テスト返却 自己評価・授業評価	1	・2ヶ月の間の学習の状況について自己評価する。	
1月	第8章 戦国大名の 登場	1. 室町幕府の成立	3	・院政と摂関政治の相違を理解し、古代国家の解体について考察する。	自己評価
		2. 幕府の衰退と庶民の台頭	3	・源平の争乱の過程を理解する。	プリント確認 質問紙
		3. 室町文化	1	・武家政権構造と土地支配から鎌倉幕府の特色を理解し、武士の時代とはどういうものかを考察する。	行動観察
2月	第9章 戦国大名の 登場	4. 戦国大名の登場	2	・執権政治の特色とその成立過程を理解する。	小テスト
		1. 織豊政権	5	・元寇の東アジア史的意義と幕府に与えた影響を理解する。	
		2. 桃山文化	1	・武士、庶民の台頭と鎌倉新仏教の成立について理解する。	
3月	第10章 戦国大名の 登場	2年生のまとめ 自己評価・授業評価	1	・2ヶ月の間の学習の状況について自己評価する。	自己評価
		1. 織豊政権	5	・建武新政、室町幕府の成立、南北朝の動乱の過程と、争乱の理由を地方や農村の動きに注目して理解する。	プリント確認 質問紙
		2. 桃山文化	1	・幕府の衰退と民衆の動きの活発化の理由を理解させ、日明貿易など対外関係にも注目して室町時代の特色を明確にする。	行動観察
	後期末考査	1	・室町文化と庶民性と、現代文化とのつながりを理解させる。	小テスト	
	合計時間数		70		

指導と評価の年間計画例 その2

第3学年用4単位

(2年からの継続 計6単位)

<第3学年> 4単位

目標と到達目標へ向けての具体的な取り組みは、第2学年と同じ。

月	単元名	使用教科書項目(出版日本史B)	時	主な学習活動(指導内容)と評価のポイント	評価方法
4月	復習	近世以降の歴史の概観と諸問題	1	・日本史B後半の学習のガイダンス、2年次の復習	アンケート実施
	第6章 幕藩体制の 確立	3. 幕藩体制	8	・幕藩体制の特色と諸制度の相互の関連性について理解する。 ・「鎖国」政策が日本にどのような影響を与えたのかを理解する。 ・武士道や近世封建思想の特色を理解し、現代社会への影響について考察する。	プリント確認 行動観察 質問紙 小テスト
5月	第7章 幕藩体制の 展開	4. 幕政の安定	3	・武断政治から文治政治への転換の理由を多面的に理解する。 ・儒学の意味を理解し、武士道とは何かについて考察する。 ・江戸時代の岐阜県について、領地・産業・街道・治水など、多面的に理解し、岐阜県の風土について考察する。	プリント確認 行動観察 質問紙
		5. 経済の安定	2	・農業生産の発展を基盤とする諸産業の発達と諸相と、江戸時代の経済の構造を理解する。	
		6. 元禄文化	3	・町人文化の特色と、経済の発達と文化形成の関連を理解する。 ・「忠臣蔵」が現在でも人気がある理由に着目し、日本の精神文化について考察する。	小テスト
6月	第8章 幕藩体制の 動揺	1. 幕政の改革	5	・商品経済の発展や農民層の分解という幕藩体制の構造的変化(矛盾)に着目し、幕府・諸藩の政治改革の在り方を年貢増徴政策や商業政策を中心理解する。	プリント確認 行動観察 質問紙
		2. 幕政の衰退	5	・幕政改革の矛盾と欧米列強の接近、及び蘭学・国学など新しい学問の台頭による思想上の変革について理解する。 ・武士道と庶民文化の精神を比較し、後者の中に近代的要素を見だし、それが近代への架け橋となったことを理解する。	
		3. 化政文化	3	・2ヶ月の間の学習の状況について自己評価する。	小テスト
6月		前期中間考査	1	・授業評価を実施する。	自己評価
		テスト返却 自己評価・授業評価	1		
7月	第9章 近代国家の 成立	1. 開国と幕末の動乱	6	・外圧と開国の中で幕府政権が倒壊する理由に着目し、近代国家形成の要因について考察する。	プリント確認 行動観察 質問紙
		2. 明治維新と富国強兵	6	・明治新政府の諸制度に着目し、この政府が何を目標とする政府かを考察し、近代日本の特色を理解する。	
		3. 立憲国家の成立と日清戦争	6	・アジアで初めての立憲国家成立の意義を理解し、世界史全体の構造のかなで日本がなぜ大陸進出を行うのかを考察する。	小テスト
9月		課題追究学習	1	・日本人の生活と信仰について各自がテーマを設定し、相違の事象・理由等について課題追究学習を行う。	小テスト
		4. 日露戦争と国際関係	3	・日露戦争によって日本が列強の中でどのような立場になり得たのかを理解し、その世界史的意義を考察する。	
		5. 近代産業の発達	2	・近代産業の発達の諸相と労働者の階級の姿に注目し、近代における日本の経済構造の特色を考察する。	
10月	第10章 近代日本と アジア	6. 近代文化の発達	2	・学問の発展や教育制度に着目して、日本の近代文化の特色について考察する。	小テスト レポート
		1. 第一次世界大戦と日本	3	・第一次世界大戦の影響と日本の社会について理解する。	
		課題追究学習発表		・課題追究学習の発表(グループ別 全体)	
10月		前期期末考査	1	・2ヶ月の間の学習の状況について自己評価する。	授業評価 自己評価
		テスト返却 自己評価・授業評価	1	・授業評価を実施する。	
		2. ワシントン体制	4	・協調外交の時代の諸相と政党政治について考察する。	プリント確認 質問紙 行動観察
		3. 市民文化	1	・東京を中心とする都市文化の特色について理解する。	
		4. 恐慌の時代	3	・恐慌の中で協調外交の崩壊の過程について考察する。 ・恐慌の諸相に注目し、日本経済の限界を理解する。	
		5. 軍部の台頭	4	・満州事変から日中戦争への過程を多面的に考察する。 ・太平洋戦争時の日本の政治・経済・軍事を多面的に分析し、現代日本の政治・経済・社会と比較しつつ、「あやまちをくりかえさない」とはどういうことが考察する。	小テスト
	6. 第二次世界大戦	7			
11月	第11章 占領下の 日本	1. 占領と改革	4	・占領政策における民主化・非軍事化の内容を理解する。 ・「占領政策の転換」がなぜ生じたかを、世界史的視野に立って考察し、その後の日本の政治に与えた影響を認識する。	プリント確認 行動観察 質問紙
		2. 冷戦の開始と講和	2	・日本にとって対米関係がどのようなものを認識する。	
12月	第12章 高度成長の 時代	1. 55年体制	3	・55年体制がどのような状況の中で成立したかを理解する。	プリント確認 行動観察 質問紙
		2. 経済復興から高度成長へ	3	・高度経済成長の諸相に注目し、成長の原因と限界を理解し、現代の諸相との比較して、90年代以降の変化を考察させる。	
12月	第13章 激動する世 界と日本	1. 経済大国への道	2	・バブル経済など現代に直接つながる経済諸事象を理解する。	プリント確認 行動観察 質問紙
		2. 冷戦終結と日本社会の動揺	2	・ソ連の解体と冷戦の終結の意味を理解し、日本の政治・外交に与えた影響を考察する。	
		後期中間考査	1	・2ヶ月の間の学習の状況について自己評価する。	小テスト
12月	主題学習	テスト返却 自己評価	1		自己評価
		課題追究学習 現代日本の課題 課題追究学習発表	2	・現代日本の課題としてテーマを設定し、課題追究学習を実施。 ・課題追究学習の発表(グループ別 全体)	課題発表 レポート
1・2月		テーマ1. 日本文化の特色と国際理解	4	・各テーマのもとに小テーマを設定し、2年間の学習を総括しつつ、自ら課題を設定し自ら考え解決していくこととはどういうことかを再確認する。 ・2年間の反省と授業評価を実施する。	プリント確認 行動観察 質問紙
		テーマ2. 対米関係150年	4		
		テーマ3. 日本経済の課題	4		
		日本史Bの授業を終えて 授業評価	1		
	後期期末考査	1		年間の反省 授業評価	
合計時間数			120		

日本史 B

評価規準を含んだ指導と評価の計画（単元ごとの指導と評価の計画）

1 科目の目標 「学習指導要領」の科目の目標と同一

我が国の歴史の展開を、世界史的視野に立って総合的に考察させ、我が国の文化と伝統の特色について認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。

2 科目全体の評価の観点の趣旨

「評価規準の作成、評価方法の工夫改善のための参考資料（高等学校）」に記載されたもの

関心・意欲・態度	思考・判断	資料活用の技能・表現	知識・理解
我が国の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとする。	我が国の歴史の展開から課題を見だし、世界史的視野に立って多面的・多角的に考察し我が国の文化と伝統の特色についての認識を深めるとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断する。	我が国の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して活用することを通して歴史的事象を追究する方法を身につけるとともに、追究し考察した過程や結果を適切に表現する。	我が国の歴史の展開についての基本的な事柄を世界史的視野に立って総合的に理解し、その知識を身につけている。

3 単元「歴史の考察（1）資料をよむ」の目標と評価規準

(ア) 大単元「歴史の考察」の目標

歴史を考察する基本的な方法を理解させるとともに、主題を設定して追究する学習を、地域社会にかかわる学習を通して、歴史への関心を高め、歴史的な見方や考え方を身に付けさせる。

(イ) 大単元「歴史の考察」の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断	資料活用の技能・表現	知識・理解
資料をよみ資料にふれる学習、主題を設定して追究する学習、地域社会にかかわる学習を通して歴史への関心と課題意識を高め、多様な学習方法により意欲的に追究するとともに、国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとしている。	資料をよみ資料にふれる学習、主題を設定して追究する学習、地域社会にかかわる学習から課題を見だし、多面的・多角的に考察し、公正に判断している。	資料をよみ資料にふれる学習、主題を設定して追究する学習、地域社会にかかわる学習に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して活用することを通して歴史的事象を追究する方法を身につけるとともに、追究し考察した過程や結果を適切に表現している。	資料をよみ資料にふれる学習、主題を設定して追究する学習、地域社会にかかわる学習を通して、歴史を考察する基本的な方法を理解している。

4 小単元「(1)資料をよむ」の指導と評価の計画（各時間ごとの指導と評価の計画）

(ア) 小単元「資料をよむ」の目標

（「評価規準の作成、評価方法の工夫改善のための参考資料（高等学校）」を参考に独自で設定）

「紀伊国阿テ川荘民の訴状」の学習を通して、歴史における資料の特性とその活用及び文化財保護の意義について理解させる。「テ」は、低の人偏のない漢字。

(イ) 小単元「資料をよむ」の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断	資料活用の技能・表現	知識・理解
「紀伊国阿テ川荘民の訴状」の学習を通して、歴史における資料の特性について関心を高め、資料を通して歴史を読み解こうとする意欲をもつ。	「紀伊国阿テ川荘民の訴状」の内容から、鎌倉時代の社会構造について思考し、歴史を動かす庶民の活動について公正に判断する。	中学校で学習した資料の内容から、自分の歴史像の形成に結びついたものを示し、どのような歴史像かを資料を用いて表現する。	「紀伊国阿テ川荘民の訴状」の内容から、鎌倉時代の二元的支配を理解し、その知識を身につける。

日本史 B

(ウ) 小単元「資料をよむ」の各時間ごとの内容
各時間ごとの内容

(特に記録を残す評価)

1 古代地図の変遷と発達について考える			
	主な学習内容	主な学習活動・評価の観点	評価の方法・指導
1 時 間 目	考古学と歴史学との相違 「紀伊国阿テ川荘民の訴状」の内容の理解 農民生活の現状理解と、二元的な支配資料と歴史像の確認	「歴史」という言葉の意味を理解する。 「史」=文字 【知】 狭義の「歴史」が「考古学」などの成果と結びついて広義の「歴史」となっていることを理解する。 訴状をよみ、地頭の妨害によって、農民が荘園領主に弁解をしているという構造を読み解かせる。 【思】 鎌倉時代の二元的な支配を理解する。 鎌倉幕府が成立したことの政治的な意味と支配の構造。 【知】 これまでの中学の学習の中で「資料」により歴史像を造ることができたものをあげ、資料とその歴史像を発表する。 【技】【関】	広義の「歴史」が、どのような学問によっておられたものであるかを発言させる。 訴状の解読シートにより、基本的な構造を理解させる。 クイズ形式による発問 鎌倉時代の支配の特色について発問 「柳生の徳政碑文」「魏志倭人伝」「製紙女工の生活」「戦時下の記録」など、中学生時代に印象に残った資料とそれによって自分がどんな「歴史像」をもつに至ったかをプリントに記入し、発表、提出する。

5 単元 「両世界大戦期の日本と世界 (1)第一次世界大戦と日本」の目標と評価規準

(ア) 大単元「両世界大戦期の日本と世界」の目標

第一次世界大戦から第二次世界大戦に至る我が国の歴史について、世界の情勢と国内の動きを関連づけて考察する。

(イ) 大単元「両世界大戦期の日本と世界」の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断	資料活用の技能・表現	知識・理解
第一次世界大戦から第二次世界大戦に至る我が国の歴史に対する関心と課題意識を高め、多様な学習方法を通して意欲的に追究するとともに、国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人として責任を果たそうとしている。	第一次世界大戦から第二次世界大戦に至る我が国の歴史から課題を見だし、世界情勢や国内の動きと関連付けて多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断している。	第一次世界大戦から第二次世界大戦に至る我が国の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して活用することや、博物館や文化遺産を活用することなどを通して、歴史的事象を追究する方法を身に付けるとともに、追究し考察した過程や結果を適切に表現している。	第一次世界大戦から第二次世界大戦に至る我が国の歴史に関する基本的な事柄を世界情勢や国内の動きと関連付けて総合的に理解し、その知識を身に付けている。

6 小単元「(1)第一次世界大戦と日本」の指導と評価の計画(各時間ごとの指導と評価の計画)

(ア) 小単元「第一次世界大戦と日本」の目標

国際社会の中の日本の立場に着目して、第一次世界大戦前後の対外政策の推移や大戦が国内の経済・社会に及ぼした影響について考察し、また、護憲運動と原内閣の意味について考察させる。

(イ) 小単元「第一次世界大戦と日本」の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断	資料活用の技能・表現	知識・理解
・ 第一次世界大戦前後の対外政策の推移や大戦が国内の経済・社会に及ぼした影響などに対する関心と現代に通じる課題意識を高め、国際社会の中の日本の立場などを意欲的に追究している。 ・ 護憲運動と原内閣の政治上の意義に関心をもち、その歴史的位置づけに関心と現代に通じる課題意識を高め、意欲的に追究している。	・ 第一次世界大戦前後の対外政策の推移や大戦が国内の経済・社会に及ぼした影響から課題を見だし、国際社会の中の日本の立場と関連付けて多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断している。 ・ 護憲運動と原内閣の政治上の意義を多面的・多角的に考察している。	・ 第一次世界大戦前後の対外政策の推移や大戦が国内の経済・社会に及ぼした影響や護憲運動と原敬内閣などに関する文書や新聞などの文献、統計資料、絵画、映像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して活用することなどを通して、歴史的事象を追究する方法を身に付けるとともに、追究し考察した過程や結果を適切に表現している。	・ 護憲運動と原敬内閣の時代の政治に関する基本的な事柄、及び第一次世界大戦前後の対外政策の推移や大戦が国内の経済・社会に及ぼした影響に関する基本的な事柄を国際社会の中の日本の立場と関連付けて総合的に理解し、その知識を身に付けている。

日本史 B

(ウ) 小単元「第一次世界大戦と日本」の各時間ごとの内容
各時間ごとの内容

(特に記録を残す評価)

1 第一次護憲運動			
	主な学習内容	主な学習活動・評価の観点	評価の方法・指導
1 時 間 目	大正政変 二個師団増設問題と西園寺内閣 第一次護憲運動 山本権兵衛内閣の施策 シーメンス事件	山県有朋と官僚勢力の意図を通して明治国家の「国家主義」の国是を確認し、それとは逆に「デモクラシー」を望む政党勢力と開明派知識層の考え方を理解する。【知】 日露戦争以来国家主義的施策の元で「重税」に耐えてきた民衆の感情を推察し、広範な民衆運動が展開される大正期の政治の背景を理解する。【思】 「軍部大臣現役武官制」の改正を中心に、山本内閣の施策の開明的特色について理解する。【知】 官僚勢力の代表山県有朋、政党勢力の代表原敬の存在を対比的に理解する。【知】 山本内閣打倒につながる政変について理解し、この時間の学習がこれ以後の授業で数多く登場する民衆運動の嚆矢であることを理解する。 【知】	意見発表 護憲運動に怒りを爆発させた民衆の心情を推察し、プリントに記述する。 プリントの大正時代の民衆運動一覧表に記述

2 第一次世界大戦と日本の経済			
	主な学習内容	主な学習活動・評価の観点	評価の方法・指導
2 時 間 目	第一次世界大戦 日本の中国進出 第一次世界大戦と日本経済 シベリア出兵	第一次世界大戦の開戦と状況と日本の参戦の理由について理解し、この戦いが日本にとっていかに「天佑」であったかを理解する。【知】 対華二十一ヶ条の要求のについて理解し、以後昭和時代へと継続する日本の対中国政策の基本姿勢について理解する。【知】 プリントの「第一次世界大戦と日本の経済」の資料群（グラフ・表）の中から、大戦によって日本の経済がどの様になったかを結論できるものを選択し、その状況を表現する。【技】 第一次世界大戦中に起こったロシア革命と、今後の対ソ連外交の基本を理解する。 【知】	意見発表 農業国から工業国への移行、軽工業中心の工業、輸出増などの特色を表現する。 意見発表

3 原敬内閣の時代			
	主な学習内容	主な学習活動・評価の観点	評価の方法・指導
3 時 間 目	大正デモクラシーの基本的構造 原敬内閣の成立とその施策（積極政策） 原敬の暗殺と政党政治の暗部 政党政治と地元選挙区	官僚勢力と政党勢力との対立を軸に、山県有朋と原敬の行動を中心に、大正デモクラシー期の基本的政治構造を理解する。【知】 原敬の積極政策が、第一次世界大戦期の日本経済の成長を背景として政党勢力及び政友会の党勢拡張をねらいとして行われたものであることを理解する。【知】 原敬暗殺の動機ついて推察し、本格的政党政治の開始とともに、党利党略による利益誘導の施策が行われ、それが汚職事件を生むことになることを理解する。【思】 官僚政治家山県と政党政治家原の対比を基本として、利益誘導の政治の功罪を考えることにより、現代政党政治と選挙民との関係について関心や課題追究の意欲を高める。 【関】	大正政変、シーメンス事件、吉野作造等から発問のよりイメージを固める。 鉄道敷設、八・八艦隊建設の意味を説明と発問により理解する。 グループによる意見交換を通して、原敬暗殺の動機について考察する。個人意見票提出。 意見発表

日本史 B

学習指導案例

教科(科目)	地理歴史科 日本史 B	単元名	第一次世界大戦と日本
本時主題	原敬内閣の歴史的意義 (3時間目 / 3時)		
本時の目標	1 大正デモクラシーの時代の時代像を概観して理解する。【知】 2 原敬内閣の積極政策を理解し、政党政治の特色を理解する。【知】 3 原敬が暗殺されるに至った状況を考察し、初めての本格的政党内閣に見る政党政治の本質を理解し、現代における政党政治とつなげて、その歴史的意義について考察する。【思】 4 大正デモクラシー期の政治の実像から現代の政党政治を考える視点を持ち、現代の諸課題についての関心や課題追究の意欲をもつ。【関】		
指導の内容・ねらい	学 習 活 動	指導上の留意点・観点別評価	
<ul style="list-style-type: none"> 第一次護憲運動と大正政変、シーメンス事件の復習 吉野作造の「民本主義」 米騒動の原敬内閣の誕生の経緯 	<p>復習と吉野「民本主義」の説明から大正デモクラシーの基本構造として次の諸点を確認、理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 山県有朋を中心とする官僚勢力と政友会の原敬を中心とする政党勢力の対立 国家主義的な政策よりも個人的権利・地方的な利益の拡大を望む民衆の意志 「大正デモクラシー」をリードする知識人の考え <p>原敬内閣の性格を特色付けるひとつが、米騒動勃発という状況における元老山県有朋の推奏であることを理解する。</p> <p>Question 1 なぜ山県有朋は、原敬を首相に推薦したか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 原敬の経歴、南部盛岡藩出身、陸奥宗光の下での活躍、政友会幹部として西園寺内閣の内務大臣を2度歴任 原の経歴と「熟柿」主義の政治を理解する。 	<p>東京駅にある原敬暗殺現場の記念プレートの写真を導入に使い、生徒の関心を高める。</p> <p>本単元の基本テーマを発問により確認しつつ授業を進める。 <評価方法> 【知】 発問、発表 原が官僚勢力に対して戦闘的対決的な政治家か、穏健で妥協的な政治家かを判断させる。 【思】 <評価方法> 発問、挙手、発表</p>	
<ul style="list-style-type: none"> 原敬暗殺の動機 	<p>Question 2 原敬は、3年間の長期政権となるが、最後は暗殺される。その理由は何と推察されるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 原敬を暗殺した中岡良一の「私憤」は「政党政治による利権目当ての施策 汚職の多発」であり、日本における本格的政党政治の誕生直後からすでに、現代の政党政治が抱える問題が出現していることに気付く。 	<p>原内閣の内容を確認せず、原が暗殺されたことを学習させ、なぜ暗殺されたかについて、その理由をグループ別に考えさせ、「グループ別意見票」に記入の上、提出。 少数意見として、各個人の意見も書き添える。 <評価方法> 行動観察、意見発表</p>	
<ul style="list-style-type: none"> 原敬内閣の施策 学校、鉄道建設、などの地元への利益誘導の施策、選挙権拡大、八・八艦隊建設などの積極政策の意味 	<ul style="list-style-type: none"> 正解をいわないまま、教科書を見ないで、原内閣の施策の学習を進める。 原敬に関しては、中学校までに十分に学習が進んでいる。しかし、「平民宰相」であったヒーローが、その後頻発する政党政治の弊害の源となっていることについては、深い理解はなされていない。 そのことをテーマに、官僚政治と政党政治の相違を単に前者が悪玉、後者が善玉という理解にとどめず、民主主義の政治・政党政治の在り方を考えるというところまで視野を広げて考察させる。 	<p>原内閣の内容を確認せず、原が暗殺されたことを学習させ、なぜ暗殺されたかについて、その理由をグループ別に考えさせ、「グループ別意見票」に記入の上、提出。 少数意見として、各個人の意見も書き添える。 <評価方法> 行動観察、意見発表</p>	
<ul style="list-style-type: none"> 原敬暗殺の動機とその背景にある政党政治の暗部 	<p>Question 3 原敬内閣の施策の中の何かが暗殺につながっている。もう一度、暗殺の理由を考えよう。</p> <p>原敬が暗殺された理由が頻発した政党に関係する「汚職事件」への批判であることを示し、その意味を学習。 山県有朋と萩、田中角栄と新潟県長岡、などの対比から、「政党政治」の課題を学習。どうあるべきかについて考える。</p>	<p>原内閣の政策の中の何かが暗殺につながっているというヒントのもと、再度、グループで意見をまとめるとともに、「個人の意見票」に記入提出。同時に、いくつかのグループが発表。 <評価方法> 【思】 意見発表、意見表提出 グループによる意見交換により思考を深め、生徒の思考の深化を確認しながらヒントを出して、全体を誘導。 岐阜羽島駅の大野伴睦像に触れながら、政治家と地元を考える。 【関】 <評価方法> 意見発表</p>	
<ul style="list-style-type: none"> 山県有朋と萩、田中角栄と新潟県長岡、などの対比から、「政党政治」の課題を学習。 	<p>Question 4 政治というものをどのように捉えるか。「選挙区の政治家への期待」という視点から意見を述べなさい。</p> <p>政治とは何なのか、利益誘導の政治はどこまで許されるのか、などについて意見を発表させ、現代的な視点につなげて「政党政治」の長所・短所を考えさせる。</p>	<p>原内閣の政策の中の何かが暗殺につながっているというヒントのもと、再度、グループで意見をまとめるとともに、「個人の意見票」に記入提出。同時に、いくつかのグループが発表。 <評価方法> 【思】 意見発表、意見表提出 グループによる意見交換により思考を深め、生徒の思考の深化を確認しながらヒントを出して、全体を誘導。 岐阜羽島駅の大野伴睦像に触れながら、政治家と地元を考える。 【関】 <評価方法> 意見発表</p>	